

- ※ Iの解答はマークシートに、IIの解答は解答用紙に記入すること。
- ※ 携帯電話は電源を切るかマナーモードにしてかばんなどにしまうこと。時計の代わりに使用することもできない。
- ※ 問題は大きく二問ある。裏面にも続くので注意すること。

I A～Fの文中の 1 ～ 16 の空欄に当てはまる語句として最も適切なものを後の選択肢から選び、その番号をマークせよ。解答はマークシートに濃くマークすること。

A 文は客体的な 1 とそれをどのように 2 しているかというモダリティから成り立っている。モダリティは確言の場合には 3 形式となる。ただし、15X3＝45を「15かける3は45」と読み上げる場合は、モダリティの 4 である。

- | | | | | |
|---|-----------------|------------------|--------------------|---------------|
| 1 | ① ムード | ② 呼応 | ③ 概言 | ④ 叙述内容 |
| 2 | ① 描写 | ② コト化 | ③ 認識・評価 | ④ 成立 |
| 3 | ① 0 | ② % | ③ ∞ | ④ @ |
| 4 | ① 存在そのものを否定している | ② 存在をなかつたことにしている | ③ 存在を認めると数学が成り立たない | ④ 存在を一時停止している |

B 助詞「ハ」と「ガ」のうち、5 を表すのは「ガ」である。「ガ」の機能は 6 で、文中における 5 の位置を表している。一方、「ハ」は 7 の機能でその文の主題を表している。「象は鼻が長い」の文で 5 は 8 である。

- | | | | | |
|---|-------|-------|--------|-------|
| 5 | ① 主題 | ② 主語 | ③ 補語 | ④ 述語 |
| 6 | ① 係助詞 | ② 格助詞 | ③ 接続助詞 | ④ 終助詞 |
| 7 | ① 係助詞 | ② 格助詞 | ③ 接続助詞 | ④ 終助詞 |
| 8 | ① 象 | ② 鼻 | ③ が | ④ 長い |

C 副詞には、文末に特定の述語を要求する現象をもつものがある。たとえば、「あたかも」は「のようだ」の例えを要求する。このような副詞を 9 の副詞という。この名称は 10 による命名である。

- | | | | | |
|----|--------|--------|---------|---------|
| 9 | ① 陳述 | ② 情態 | ③ 程度 | ④ 主体めあて |
| 10 | ① 橋本進吉 | ② 山田孝雄 | ③ 松下大三郎 | ④ 時枝誠記 |

(裏面に続く)

(表面からの続き)

D 漢字には **11** と言われる三要素がある。このうち、日本語における音読みは三種類があるとされており、「行」を「ギョウ」と読むのは **12** で、この音は **13** として用いられる。

11 ① 形音義 ② 異体字 ③ 正略俗 ④ 仏法僧

12 ① 漢音 ② 呉音 ③ 唐音 ④ 北京官話

13 ① 神道用語 ② 漢語 ③ 仏教用語 ④ 建築用語

E 「山車」を **14**、「祝詞」を「のりと」のような二字以上の漢字にまとめて対応するよみを **15** と呼ぶ。

14 ① やまぐるま ② みこし ③ たてし ④ だし

15 ① 重箱読み ② 湯桶読み ③ 熟字訓 ④ 国訓

E あなたは、食旅パスポートのアンケートに答えようとおもいますか。解答番号は **16**。

16 ① はい ② YES

II 日本語アスペクトのうち、「結果の残存」について例文を挙げて説明せよ。解答は解答用紙に書くこと。